

ホットな 白石の人

西益岡地区の団らんコミュニティ

明正会の皆さん

昭和30年代、西益岡地区に発足した明正会は、文字通り「明」治・大「正」生まれの方により、会員の健康増進とコミュニティの推進を図る目的で結成されました。現在

95名の会員数を誇り、第一明正会会長の佐藤尚さんと第二明正会会長の佐藤みよさんを中心に、四季折々の活動を行っています。佐藤尚さんに、会の活動などについてお伺いしました。

●現在、明正会ではどのような活動を行っているのですか？

年1回、会員同士の親ぼくを図るため、東北各地への旅行を行っているほか、毎年8月25日に「物故祭」を開催して、亡くなられた会員の供養を行っています。

また、過日、西益岡出身の森治右衛門さん(故人)が残した民話や説話、地理や歴史の研究成果を集約した冊子『田螺の眩き』の一部をコピーして読んだところ、大変面白く、好評でしたので、今年8月に複製版を作

って全会員に配布しました。その後、月に一度この本の「読む会」を開催して、仲間たちと楽しいひとときを過ごしています。

●明正会の皆さんは普段どんなことを心掛けているのですか？

明正会では、①まずは自分の安全づくりを、②明るく楽しく長生きしよう、③あるけ歩けで子どもを守るボランティア



▲今年7月、旅行先の山形蔵王温泉・地藏岳にて

アを、といった「三大目標」を掲げて活動しています。①の「安全」は、単に交通事故に遭わないためにどうしたらよいかを話し合うだけではなく、自宅の内外で「自分の居場所」をどのように確保していったらいいのかを話し合うというものです。②は先にお話した親ぼく旅行のほか、白寿や米寿を迎えた会員をお祝いするなどして、長寿の喜びを全員で楽しもうというものです。③は地域の一員として、大切な子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう見守っていこうというもので、自治会と共同で取り組んでいます。親ぼく会旅行も会員だけでなく、自治会にも呼び掛けたところ大成功でした。今後とも自治会と連携しながら、会や地域の発展のため頑張っていきたいと考えています。

●今後の抱負などをお聞かせください。

明正会では「明るく楽しく長生きしよう」をモットーに、会員一人ひとりの健康や安全を確保しながら、地域内の防犯・防災にも役立っていこうと考えています。また、郷土の歴史や伝承を後世に伝えていくことも大切な役割ではないかと考えています。これからも目標に向かって頑張りたいと思います。



▲今年8月に複製された『田螺の眩き』。希望者には1,000円でお譲りしています(連絡先:佐藤尚 ☎25-2228)。



▲「読む会」で楽しく『田螺の眩き』を読む会員の皆さん

子ビッコ美術館

「ソーランぶし」



のどか
尾形 和さん
(小原小・2年)

わが家の アイドル

ママからひとこと
素直で優しい
女の子になってね♥

パパからひとこと
いつも笑顔の
彩音でいてね!



鈴木 彩音ちゃん
あやねちゃん
茂広さん、和美さんご夫妻の長女(福岡蔵本)

※我が家のアイドルを募集中!
詳しくは総務課広報聴係
(☎22-1331)へ

白石の風景50選



「白石城のお堀り」(撮影場所: 沢端町地内) 橋本 明彦さん(福岡深谷)

11月は国民健康保険税(5期)の納期です

「夜間納税総合窓口」開設のお知らせ

市で取り扱うすべての税金・料金を納入できるようになりました。仕事などでお忙しい方、ぜひ利用ください。

- 日時 11月29日(水)・30日(木)
17:30~19:30(市税は、17:30~20:00)
- 場所 市庁舎1階 収納管理室ほか

市の木	市の花	市の鳥
ブナ	ヤマブキ	ウグイス